

# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
 編集者：代表幹事 高橋賢一  
 連絡先：市民活動支援センター  
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
 (渋川福祉センター内)  
 TEL 0561-51-2878

2014年9月6日(土) 13:00~15:30  
 尾張旭市 あさひこども環境教室  
 小学生~高校生32名 ピアゴ印場店及渋川福祉センター



2014.09.06



1日のスケジュールと注意事項を聞く小学生

次世代を担う子供達  
 がピアゴ印場店で  
 お店エゴ学習体験  
 をした。  
 この活動は行政と  
 民間企業と地元  
 団体と三協働連  
 携しての初の活動  
 で子供達にもサ  
 の秘密や環境ス  
 の意味を学ぶ。店  
 のバックヤード  
 側も見る。を見て  
 店舗から出るゴミは  
 19種類に分別計  
 量してゴミを減  
 ることで、ゴミを減  
 らすよう意識を高  
 めるエゴに親とし  
 店で体験と学習を



2014.09.06

▲ A班、B班に分かれての見学 組別による場面。  
 主催 地域環境活性化協議会  
 後援 尾張旭市、尾張旭市教育委員会  
 協力 尾張旭市環境課、ユニ株式会社、ピアゴ印場店。

▼ 文房具の環境スールを採り子供達  
 りました。



2014.09.06

地球にやさしい  
 お買い物をして  
 しよう。  
 子供達が身近  
 な文房具につ  
 いての環境ラ  
 ベルを探します。  
 普及使用してい  
 る下敷きやایتに  
 もリサイクルさ  
 れたものや環境  
 にやさしい素材  
 で作られたもの  
 があります。  
 食品廃棄物  
 リサイクルシス  
 テムの説明も学  
 びました。  
 野菜売り場の  
 空容器がリサイ  
 ンから出来る  
 のもはじめて知  
 りました。



▼ ピアゴ印場店長さんより説明を受ける  
 子供達。  
 後ボールの使用抑制に組んでる。  
 バックヤード折り畳み式のコンテナを使用し



2014.09.06